

古きを訪ねて新しきを知る 4

文化財保護課 0224-6097

眠ったままの線路

大正14年(一九二

五)に開業した西武
鉄道安比奈線は、入
間川で採取した砂利
を運搬するための貨
物線でした。砂利採
取禁止に伴い、昭和
42年に休止されました。

八瀬大橋の近くには、「つばさ」ロケ地として、
軌道敷内を歩くことができる場所が百五十メー
トルほどあります。そこには、休止から四十年余り
たった今でも、レール・枕木・架線柱・橋りよう
などが朽ちながらも残されています。これらの姿
は、かつてこの地に物の流れがあり、活気があつ
たことを物語っています。

木漏れ日がレールを照らす夏、木々の葉が染ま
る秋、落ち葉に覆われる冬……。季節ごとに違う
表情を楽しみながら、貨物列車が走っていたころ
の時代に思いをはせてみてはいかがでしょうか。



緑のトンネルの中に続く線路。
「つばさ」で使われたトロッコ
(複製)があります



小江戸川越観光
キャッチフレーズ

とき
薫るまち
川越



川越の枝豆

川越の枝豆は、「天ヶ峰」「恋姫」「湯あがり娘」
などの品種があり、県内で収穫量が1番。枝豆は、
大豆を若いうちに収穫したもので、名前は枝付き
のままゆでて食べたことに由来します。良質なた
んぱく質のほか、ビタミンB₁やC、Aも豊富に

含まれているため、夏ばて予防に効果的です。

「温度に左右されやすく、調節がうまくいかないと実がならないこ
ともあります。直売では生産者名な
ども出るので、良い物を作らなけれ
ば」と、枝豆作りへの思いを語る栽
培農家の塩野富雄さん。



出荷時期が早く、
旨みがある「天ヶ峰」

丹精込めて作った枝豆は、直売所
などで買うことができます。ピールのつまみはもちろん、
ご飯に混ぜたり菓子作りの材料にしたり、用途はいろい
ろ……。この夏、皆さんはどのように味わいますか？



「さや付きのまま、素揚げするのも
おいしいですよ」と塩野さん

編集後記

どんぐり

夏 に向けて「元気な
写真を撮ろう」と、

天気予報とにらめっこの
日々。そんな願いが通じ
たのか、久しぶりに太陽
が顔を見せました。早速、
カメラを携え保育園へ。
青空の下、水の掛けっこ、
かえる跳び……。撮られ
ていることなんて気にせ
ず水しぶきを上げて、子
供たちは、元気いっぱい
にはしゃいでいました。
自力ではどうにもなら
ない天気。それだけに、
農家の皆さんも悩まされ
ることが多いとか。品質
の良い物を多く収穫する
ために、常に天気と向き
合わなければなりません。
おいしい野菜は、農
家の方の努力のたまも
の。感謝して食べなけれ
ば、と改めて感じました。